

適用機種

GEAREV / NEWS GEAREV

グリップヒーター 取付説明書

販売店様へ

この取付説明書は、必ずお客様にお渡しください。

お客様へ

この取付説明書は、必ず保管してください。

シンボルマークについて

下記のシンボルマークは、本書を通して作業上の注意事項を表示しています。

危険 指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

警告 指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性のあるもの

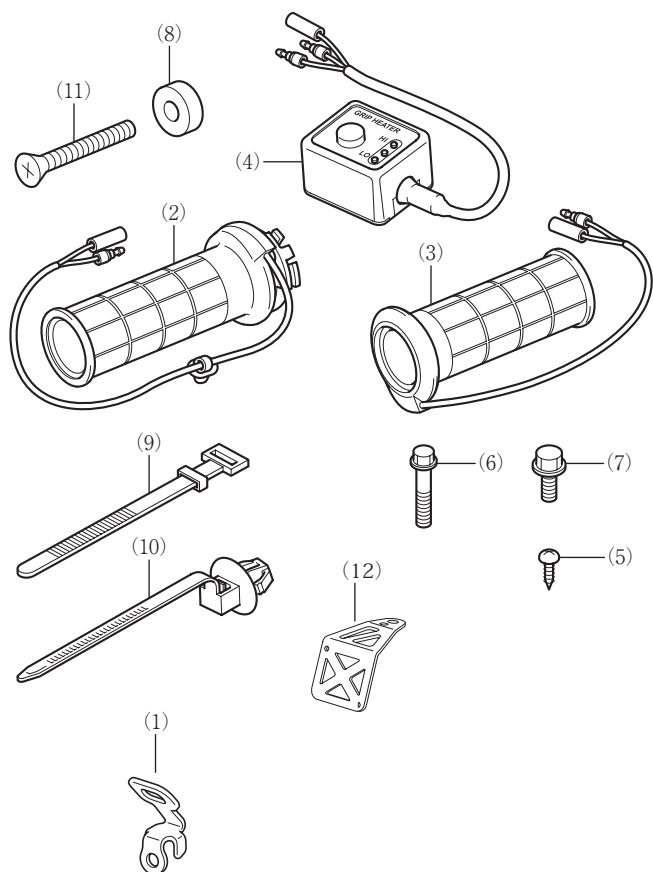
注意 指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

アドバイス お車と用品のために守っていただきたいこと

知識 知っておいていただきたいこと知っておくと便利なこと

構 成 品

取扱説明書及び取付要領書が同梱されているときは、必ずお客様にお渡しください。



見出し番号	部品名称	個数
(1)	クランパーコード	1
(2)	右側グリップヒーター	1
(3)	左側グリップヒーター	1
(4)	ヒータースイッチ	1
(5)	3 mm スクリュー	2
(6)	6 mm SH フランジボルト	1
(7)	6 mm フランジボルト	1
(8)	スペーサ	2
(9)	バンド	2
(10)	クリップバンド	1
(11)	6 mm スクリュー	2
(12)	スイッチブラケット	1

必 要 工 具

注意

・安全防護具を着用し、絶縁工具を使用してください。また、安全防護具、絶縁工具は作業前に必ず点検し、損傷などないことを確認してください。
高電圧によって感電する可能性があります。

- ・ マイナス配線ドライバ
- ・ T-レンチ (8, 10 mm)
- ・ プラスドライバ
- ・ ニッパ
- ・ マーカ
- ・ 定規
- ・ ゴム用接着剤または相当品
- ・ グリース
- ・ 脱脂洗浄剤 (イソプロピルアルコール)
- ・ ウェス
- ・ トルクレンチ
- ・ 車両の部品の取り外し、取り付けに必要な工具は、サービスマニュアルを参照してください。

トルクについて

- 各スクリュー、ボルト、ナットの締め付けトルクは下記の表に従って締め付けてください。また、車両の部品の締め付けトルクはサービスマニュアルを参照してください。

種類	N·m	kgf·m
6 mm スクリュー	9	0.9
6 mm SH フランジボルト	9	0.9
6 mm フランジボルト	12	1.2

取付について

警告

- 各スクリュー、ボルト、ナットは**確実に**締め付けてください。締め付けが不確実なとき走行中に脱落し、運転者または後続車の乗員や歩行者を死亡または重大な傷害に至らしめる可能性が高くなります。
- 感電防止のために下記の指示に従ってください。
 - 部品の脱着をするときは、必ずメインスイッチを OFF にして動力用バッテリーを取り外してから行ってください。
 - 脱着するときは、必ず安全防護具を着用し、絶縁工具を使用してください。
 - 金属製品を身に付けて作業しないでください。
 - 床が濡れている場所や、雨のかかる場所では作業しないでください。
- スロットルケーブルを車両から取り外すときはプライヤなどで無理に外さないでください。
スロットルケーブルが折れ曲がりスロットルの戻り不良が原因で転倒事故などを起こし、死亡または重大な傷害に至る可能性が高くなります。
- 左側グリップヒーターとハンドルの接着を確実にを行うために必ず指定の**ゴム用接着剤**または相当品を使用し、接着されるまで乾燥させ、必ず**確実に**接着されているか確認してください。
指定外の接着剤を使用したり、十分な乾燥時間をとらないと走行中にグリップヒーターが外れることが原因で転倒事故などを起こし、死亡または重大な傷害に至る可能性が高くなります。
- 右側グリップヒーターを車両に取り付けたときは必ずスロットルの開閉を行い、引っかかりが無いか確認してください。確認をおこたると、スロットルの戻り不良が原因で転倒事故などを起こし、死亡または重大な傷害に至る可能性が高くなります。

- 取り付けは、必ずバッテリーケーブル (-)、動力用バッテリーを外してから行ってください。
- バッテリーを外すと、時計などがリセットされるので再度設定してください。
- 取り外した部品は、元の仕様に戻すとき必要になりますのでお客様にお渡しください。
- 外装部品などの再取り付け時、配線類のかみ込みがないことを確認してください。
- 取り付け完了後、灯火器（ヘッドライト、左右のウインカ、ブレーキライト）の作動確認およびスロットルグリップの引っかかりが無いことを確認してください。
- ハーネスバンドの余った部分はカットしてください。また、カットした部分が他のハーネスやブレーキホースなどに干渉しないようにしてください。
- ウインドシールドとの同時装着は、本書とウインドシールドの取付説明書を参照してください。

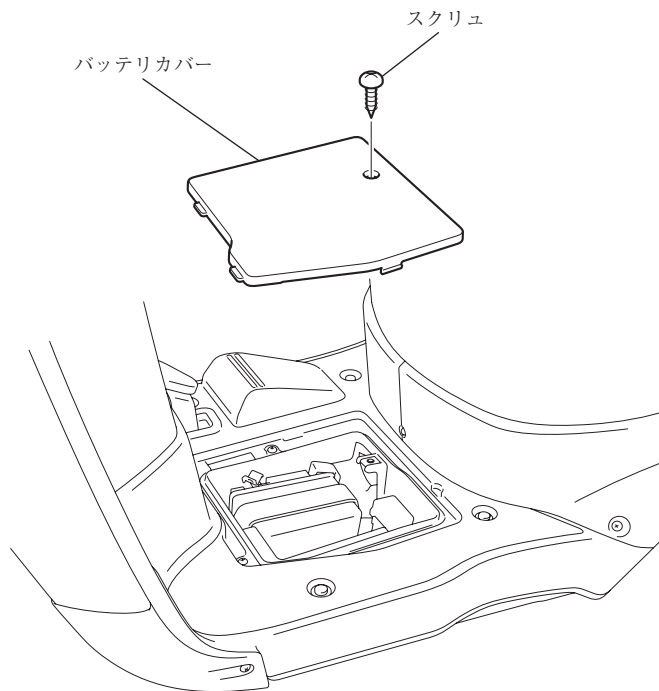
取付方法

- 取付方法は GEAREV で説明していますが、NEWS GEAREV も同様に作業してください。

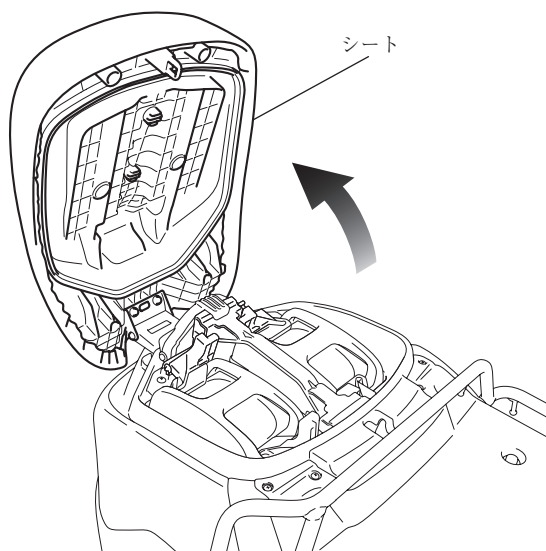
1. 車両部品の取り外し

- サービスマニュアルで案内している注意事項に従って作業してください。

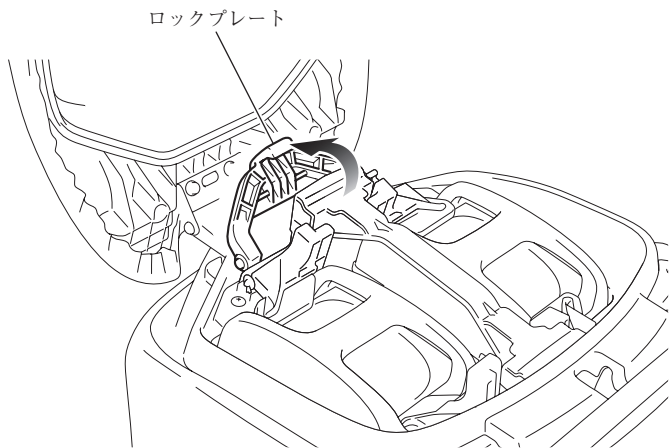
- 1) 図のようにバッテリーカバーを取り外し、バッテリーケーブル (-) を取り外す。



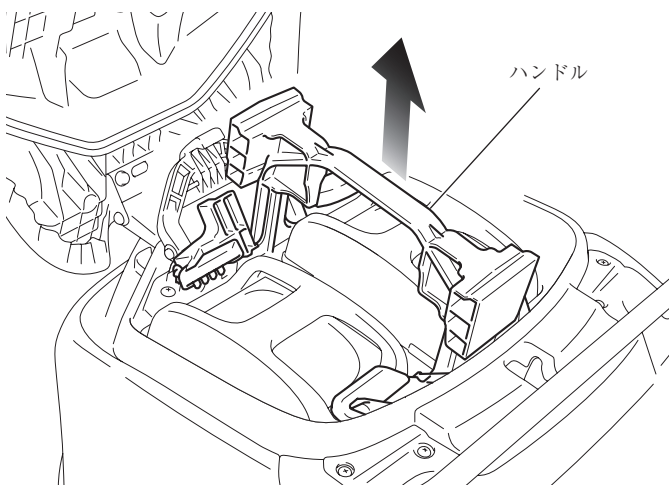
- 2) 図のようにシートを上げる。



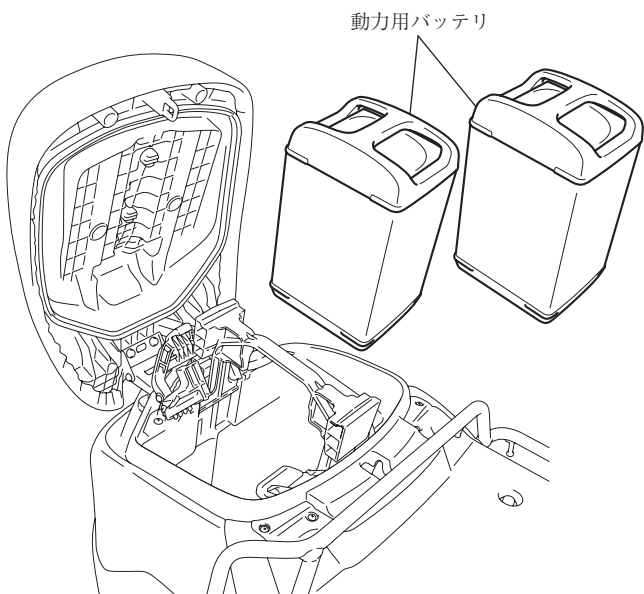
3) 図のようにロックプレートを倒す。



4) 図のようにハンドルを持ち上げる。

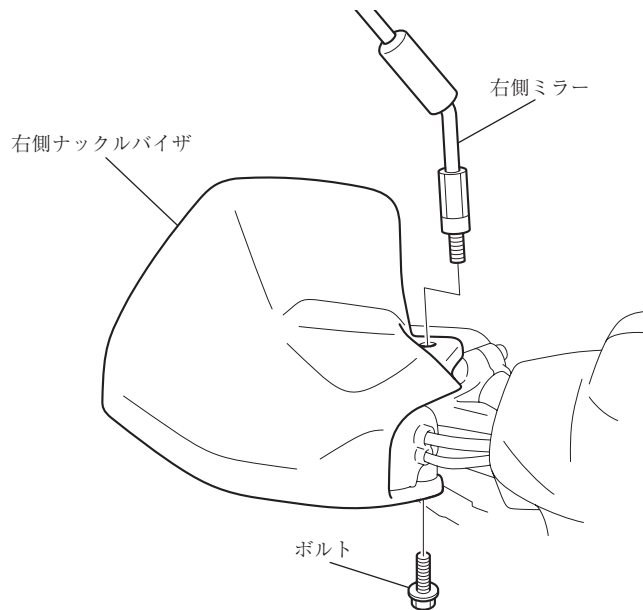


5) 図のように動力用バッテリーを取り外す。

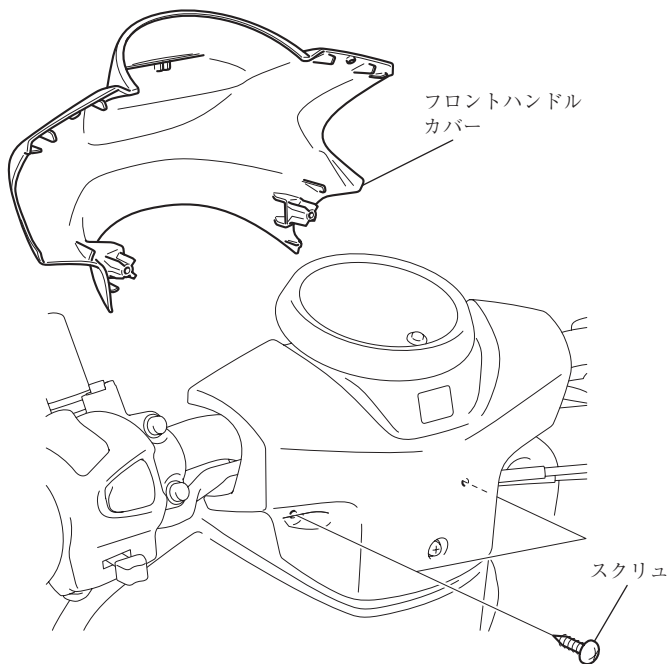


6) 図の部品を外し、右側ナックルバイザを取り外す。

- ・この手順はNEWS GEAREVのみ行ってください。
- ・左側も同様に取り外してください。



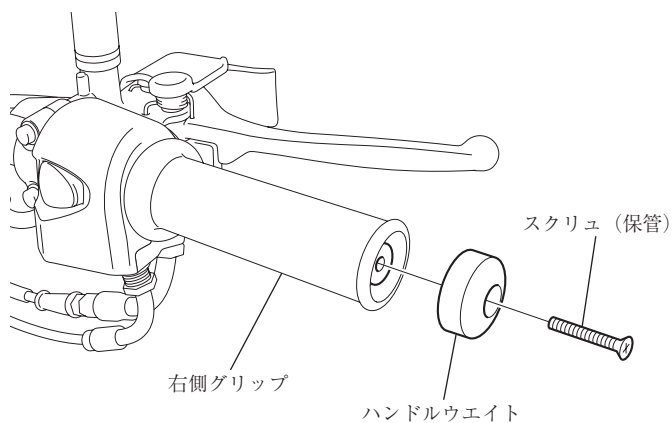
7) 図のようにフロントハンドルカバーを取り外す。



8) 図のようにハンドルウエイトを取り外す。

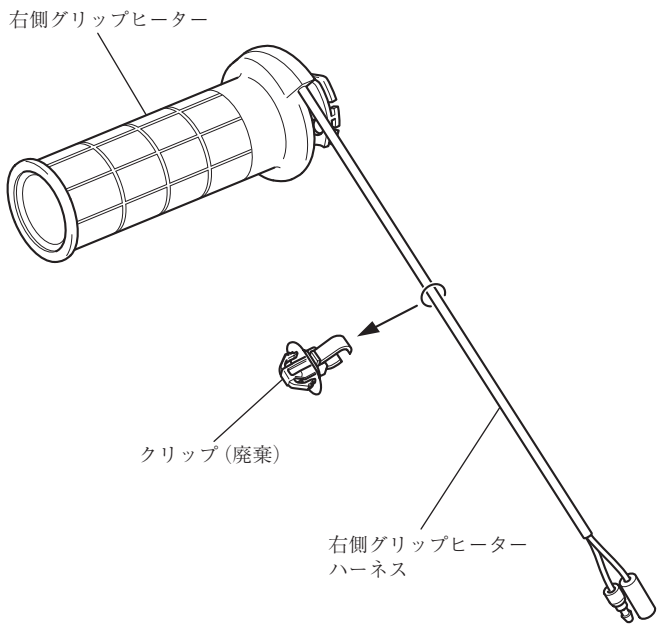
- ・左側も同様に取り外してください。

〈右側〉

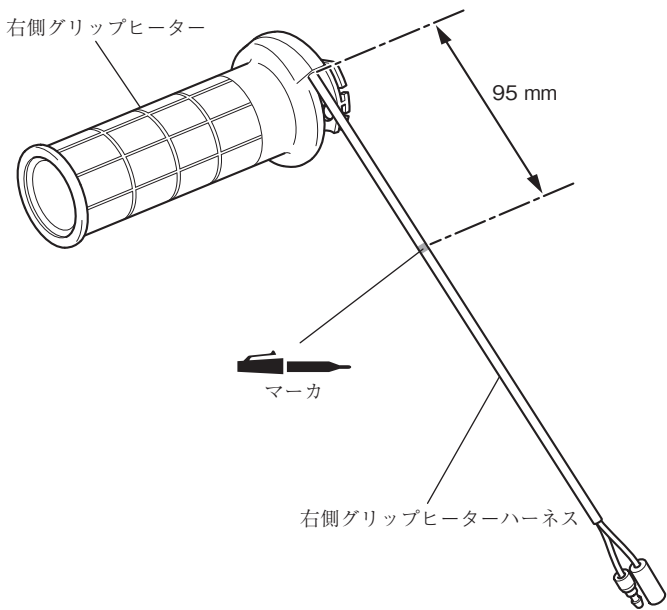


2. 右側グリップヒーターの取り付け

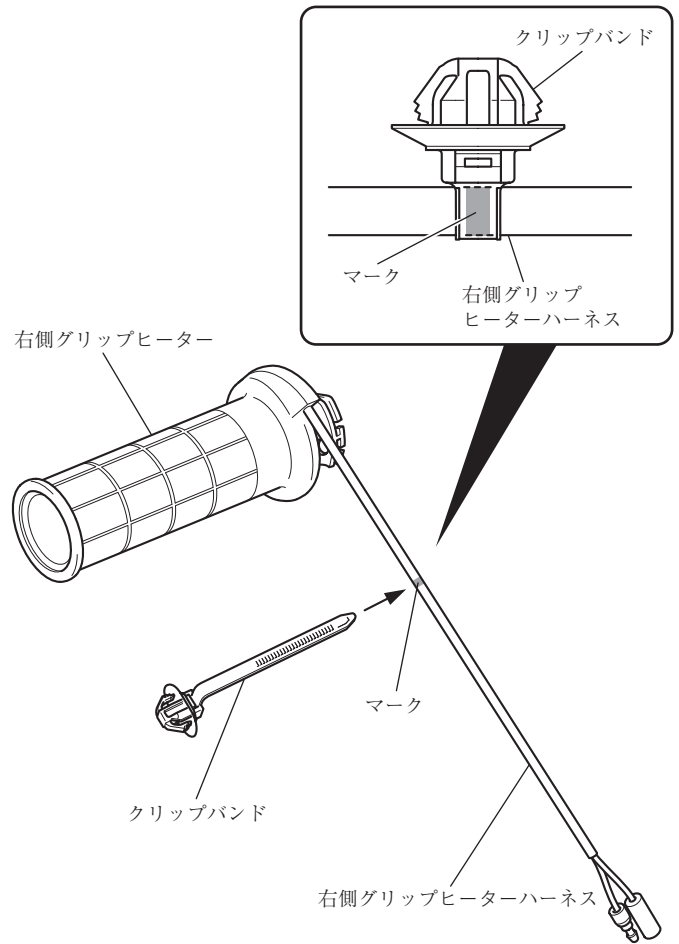
1) 図のように右側グリップヒーターからクリップを取り外す。



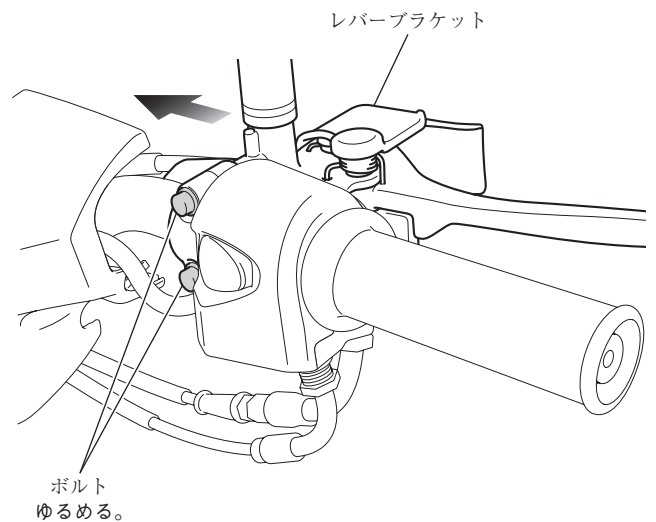
2) 図の寸法で右側グリップヒーターハーネスにマークを付ける。



3) 図のようにクリップバンドをマーク部に取り付ける。

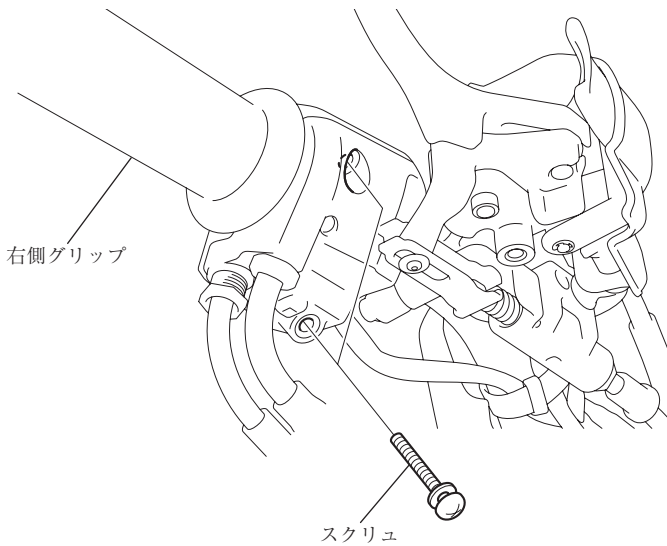


4) 図のようにボルトをゆるめ、レバーブラケットをずらす。
(右側)



5) 図のようにスクリュを取り外す。

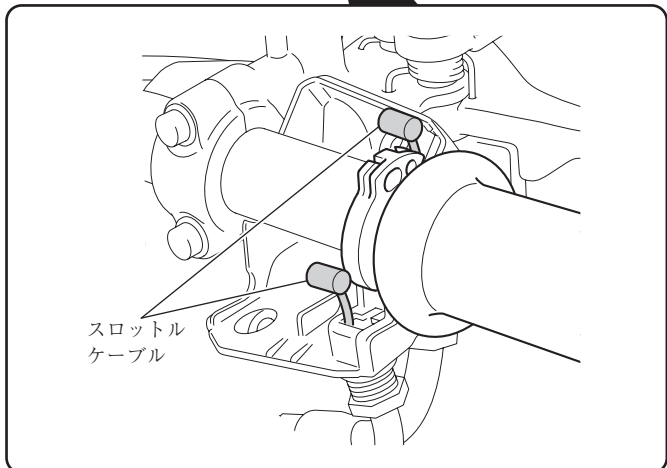
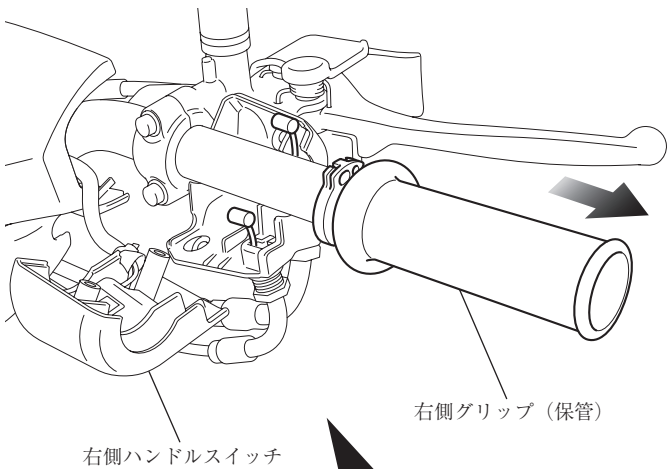
〈右側〉




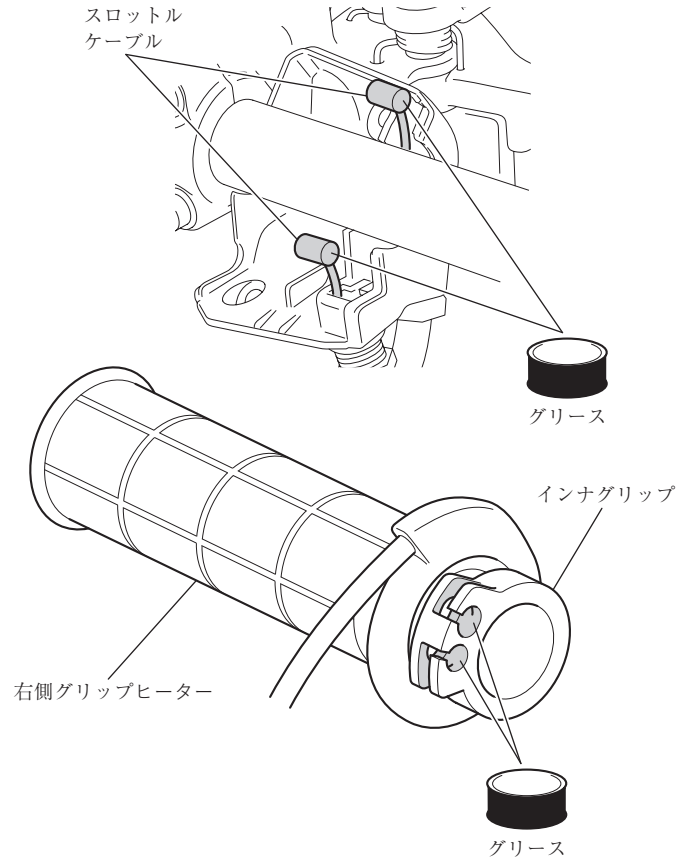
6) 図のように右側グリップを取り外す。

警告

・ スロットルケーブルを右側グリップから外すときは、プライヤなどで無理に外さずに必ず車両のサービスマニュアルを参照してください。
無理にプライヤなどで外すとケーブルが折れ曲がり、スロットルの戻り不良が原因で転倒事故などを起こし、死亡または重大な傷害に至る可能性が高くなります。

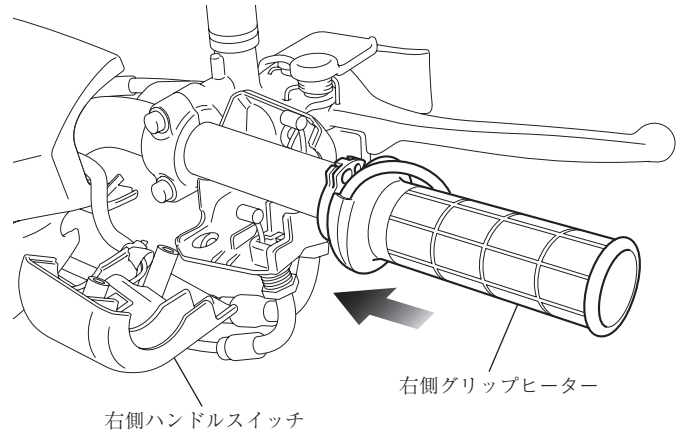


7) 図の  部にグリースを塗布する。



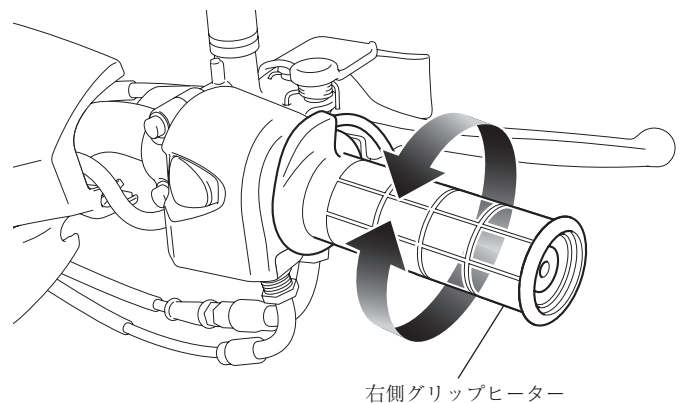
8) 取り外しの逆手順で右側グリップヒーター、右側ハンドルスイッチを取り付ける。

・ 取り付け後、サービスマニュアルを参照してスロットルの遊びを調整してください。

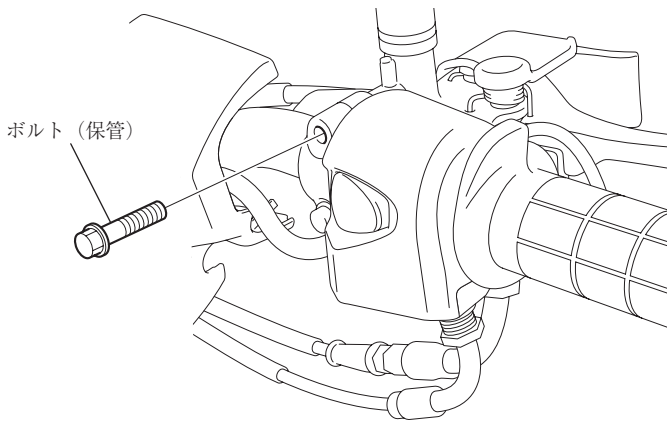


9) 図のようにスロットルの開閉を行う。

・ 開閉がスムーズに行われるか確認してください。

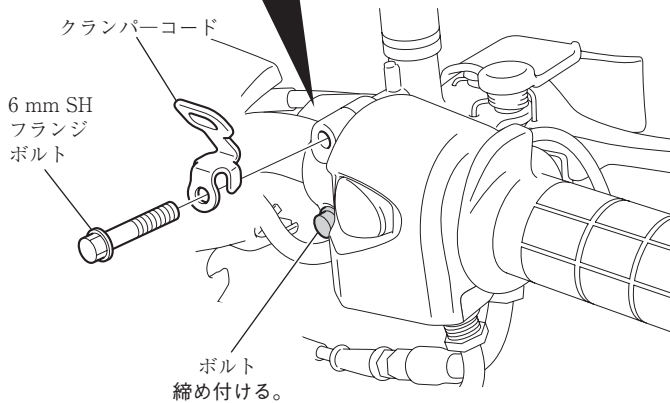
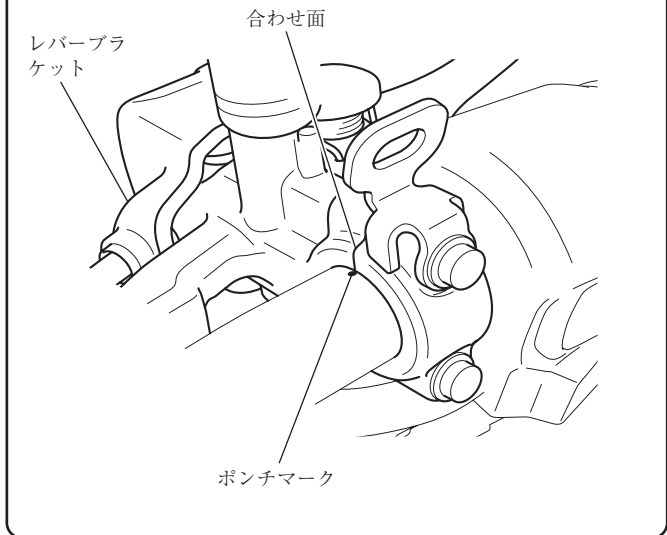


10) 図のボルトを取り外す。



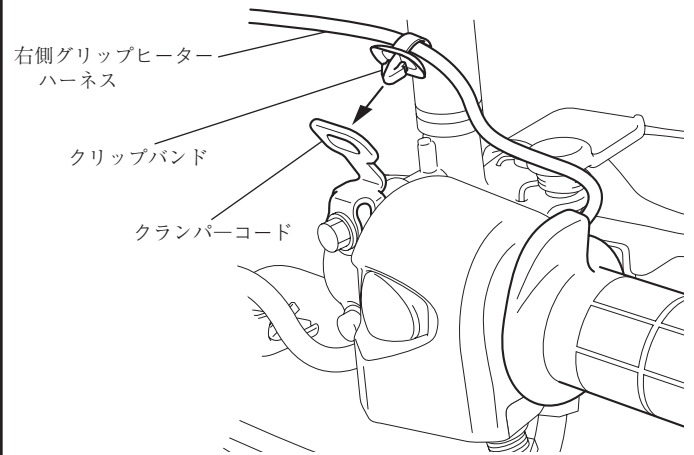
11) 図のようにクランパーコードを取り付ける。
・締め付けは上側から行ってください。

レバーブラケットの合わせ面をポンチマークに合わせる。



12) 図のように右側グリップヒーターハーネスを取り廻し、クリップバンドを取り付ける。

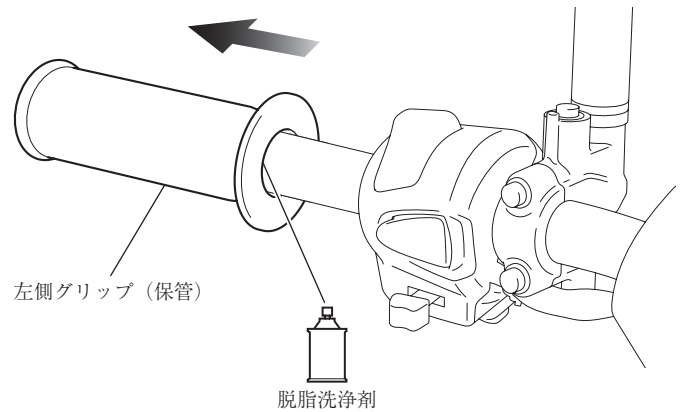
・スロットルの開閉を行い、ハーネスの引きつりがなく確認してください。



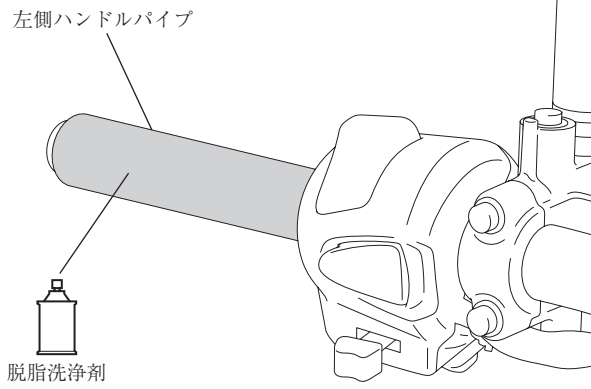
3. 左側グリップヒーターの取り付け

1) 図のように左側グリップを取り外す。

〈左側〉



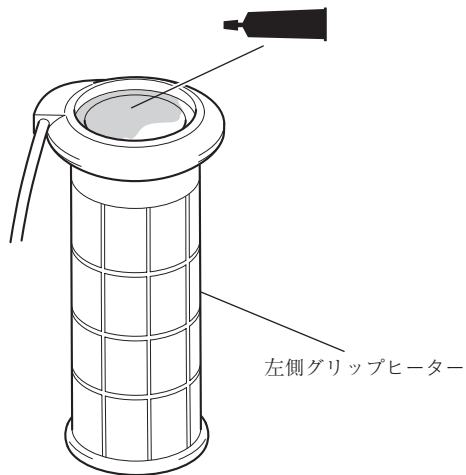
2) 脱脂洗浄剤を使用し、左側ハンドルパイプに付いている接着剤を取り除く。



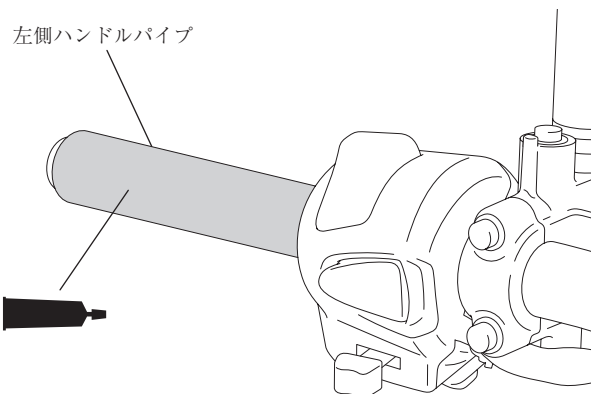
3) 左側グリップヒーターの穴周辺にゴム用接着剤または相当品をを多めに塗布する。

 **アドバイス**

・手順3)～6)は、作業内容を一読し全て確認してから、接着剤が乾かないうちに作業してください。また、車両が倒れないように補助を一人付けてください。

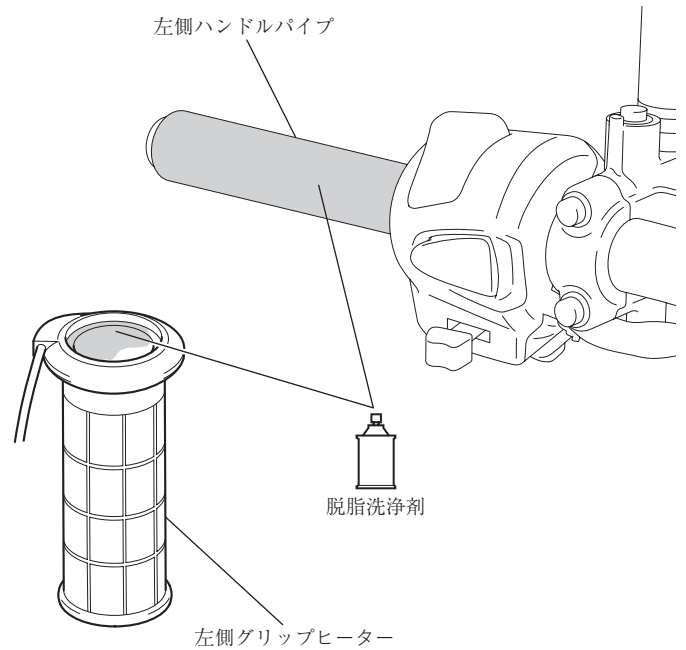


4) 図のように左側ハンドルパイプに ゴム用接着剤または相当品を塗布する。



5) 脱脂洗浄剤を左側グリップヒーター内周面、左側ハンドルパイプ外周面にスプレーする。

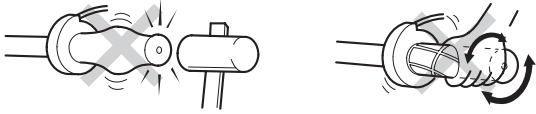
・取り付け位置を合わせやすくするために行います。



- 6) 図の位置に左側グリップヒーターを取り付ける。
 ・はみ出た接着剤は拭き取ってください。

🔧 アドバイス

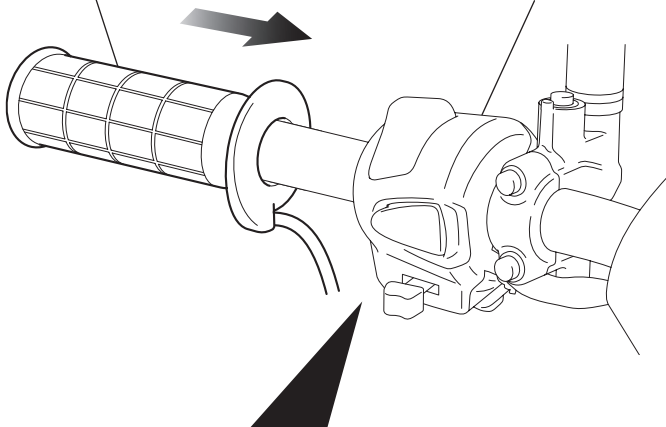
- ・グリップヒーターを挿入するとき、「グリップエンドをハンマーでたたく」「グリップを強くねじる」などは行わないでください。グリップヒーター内で断線する恐れがあります。



- ・万一、グリップヒーターが途中で入らなくなったときは、グリップヒーターとハンドルパイプの隙間に脱脂洗浄剤を入れて取り外してください。無理に配線ドライバなどでこじ開けると、グリップヒーター内で断線する恐れがあります。
- ・左側グリップヒーター取り付け後、最低でも1時間は左側ハンドルに触れないでください。また、ヒータースイッチをONにしないでください。

左側グリップヒーター左側ハンドルスイッチカバーに軽く当たるように取り付ける。

左側ハンドルスイッチカバー

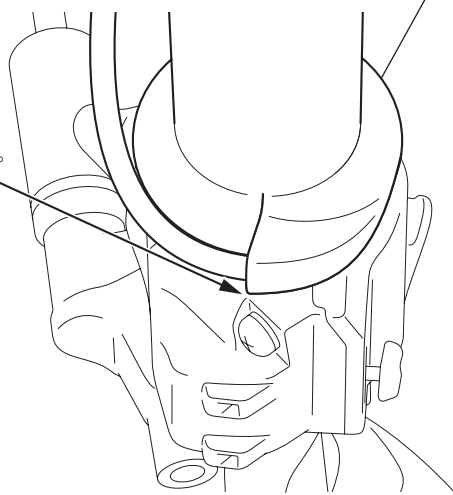


〈下側〉

図の位置に合わせる。

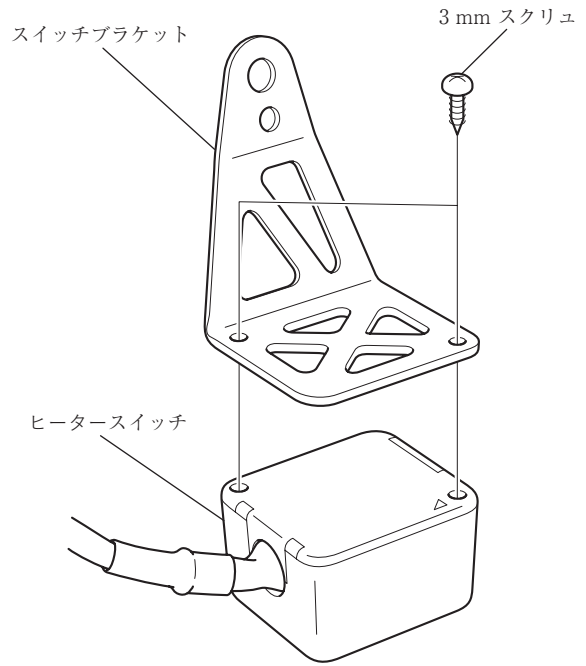
左側グリップヒーター

合わせる。

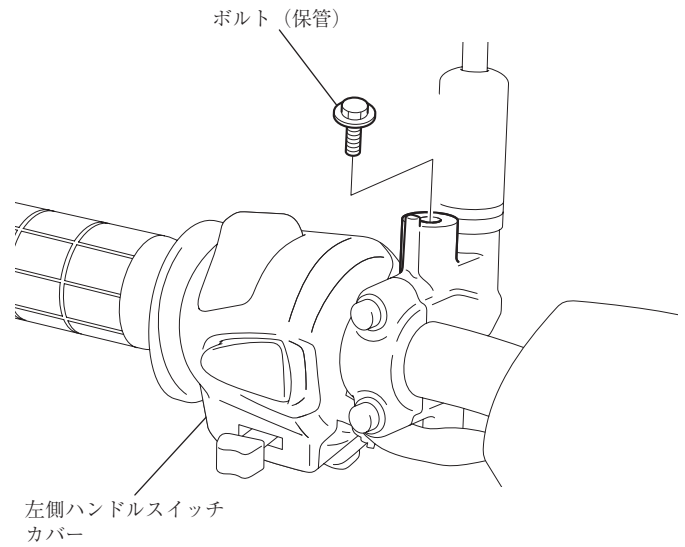


4. ヒータースイッチの取り付け

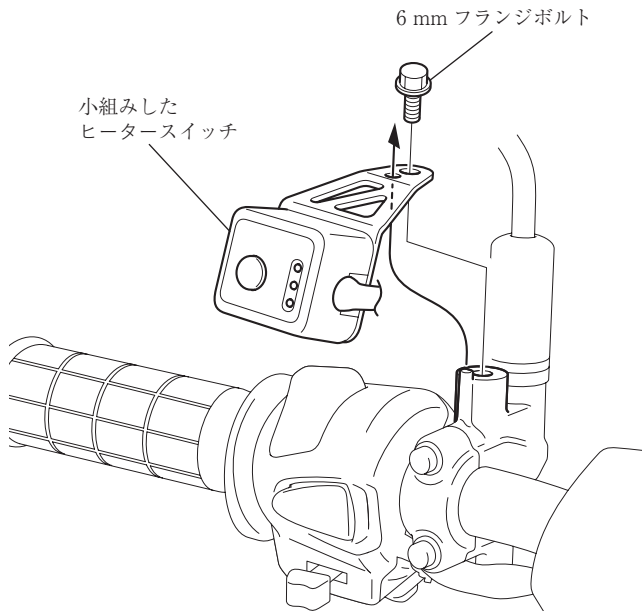
- 1) 図のようにヒータースイッチを小組みする。



- 2) 図のようにボルトを取り外す。
 〈左側〉



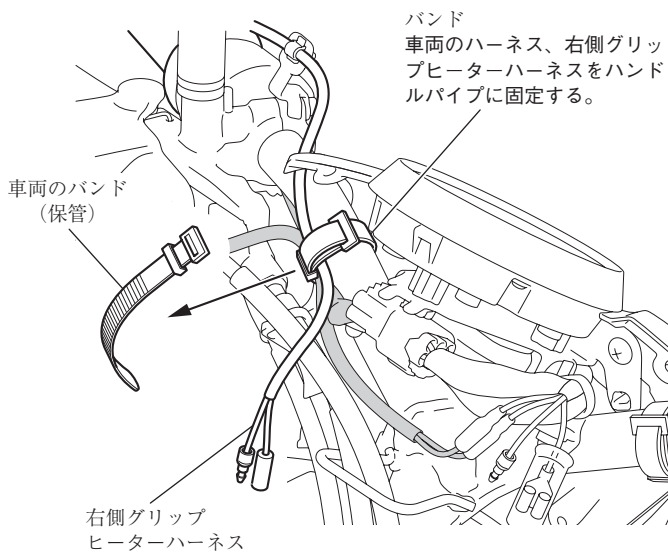
3) 図のように小組みしたヒータースイッチを取り付ける。



5. 各ハーネスの接続

- 1) 図のように右側グリップヒーターハーネスを取り廻し、バンドで固定する。
・バンドの余った部分はカットしないでください。

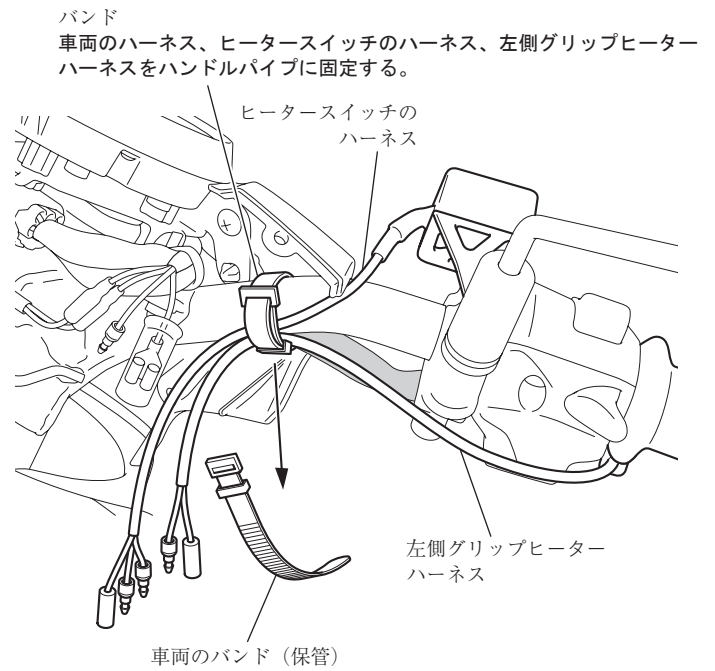
〈右側〉



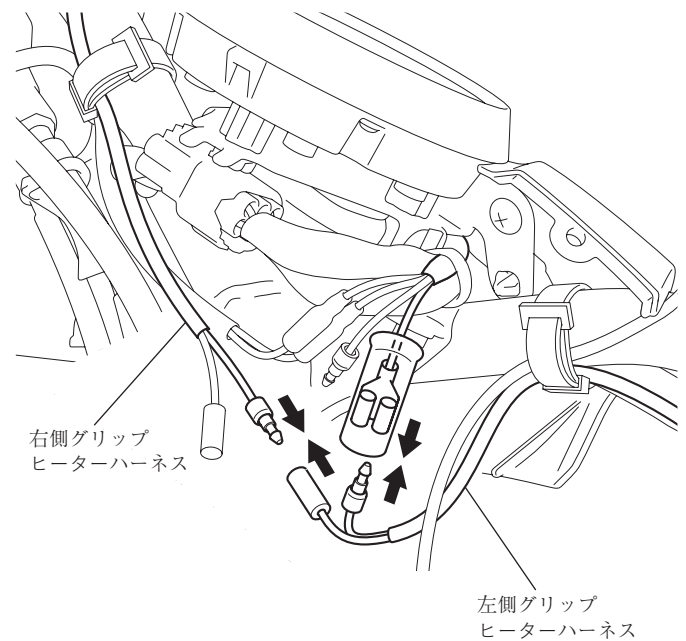
- 2) 図のように左側グリップヒーターハーネスとヒータースイッチのハーネスを取り廻し、バンドで固定する。

・バンドの余った部分はカットしないでください。

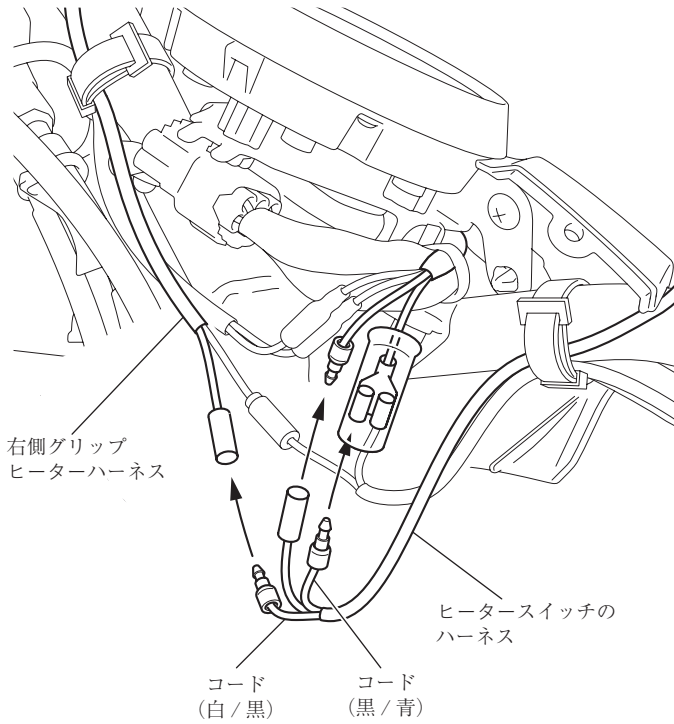
〈左側〉



- 3) 図のように左側グリップヒーターハーネスを接続する。



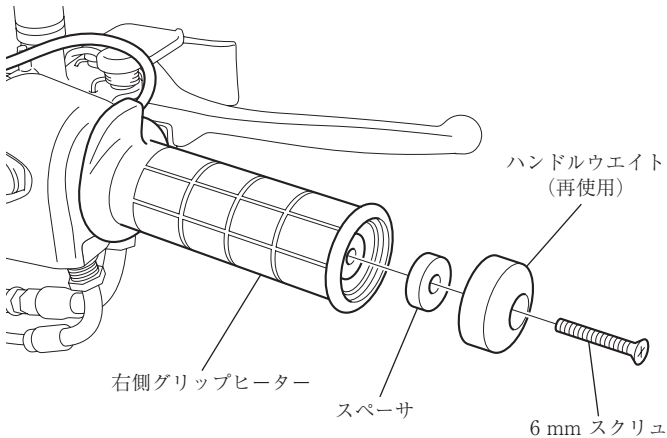
4) 図のようにヒータースイッチのハーネスを接続する。



6. 車両部品の取り付け

- 1) 図のようにスペーサ、ハンドルウエイトを取り付ける。
・左側も同様に取り付けてください。

〈右側〉



- 2) 取り外しの逆手順で取り外した車両の部品を取り付ける。
・ハーネスのかみ込み、引きつりがいいことを確認してください。

7. 取り付け後の確認

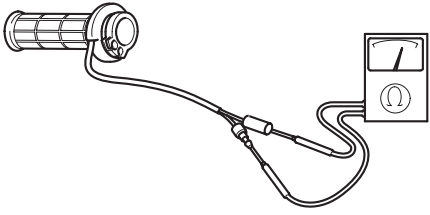
- 1) グリップヒーターの作動およびスロットルの開閉、ヘッドライトなどの灯火器類の作動について確認する。
・左側グリップヒーター取り付け後、1時間以上たってからグリップヒーターの作動確認を行ってください。また、そのときにヒーターレベルは3以上にしないでください。
・グリップヒーターの作動確認後、必ずヒータースイッチをOFFにしてください。

お客様へ納車するときには下記内容を必ずお伝えください。

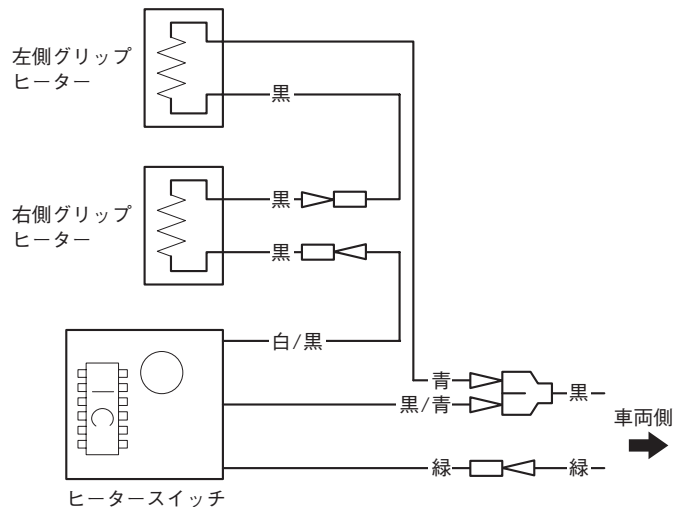
- ・納車から1週間の間にグリップヒーターを使用するときは、ヒーターレベルを2以下で使用してください。

販売店様故障診断

◎ グリップヒーター作動確認以外の各部品、回路の点検はエンジンを停止し、メインスイッチをOFFにして行ってください。

不具合事象	確認内容
グリップヒーターが作動しない。 ・グリップヒーターの不良 ・グリップヒーターコイルの不良 ・ハーネスの断線、またはショート ・ヒータースイッチの不良	<p>① コード類（端子、カブラ）の結線は確実に行われているか？</p> <p>② グリップヒーターの点検 端子間で各グリップヒーターの抵抗を測定する。 標準値 右側 $4.2 \Omega \pm 10 \%$ 左側 $4.8 \Omega \pm 10 \%$</p>  <p>③ ヒーターハーネスの点検導通検査を行う。</p> <p>④ 上記の①②③の点検で異常がなく、グリップヒーターが作動しないときはヒータースイッチの交換を行う。</p> <p>※ スイッチはIC回路が含まれているため通常の点検（導通点検等）での確認は困難です。</p>

配線図



●商品に関するお問い合わせ

株式会社ワズギア  **0120-819049**
オープン時間 月曜～金曜（祝日、弊社所定の休日除く）
 9:30～12:00 13:00～17:00
 ◎音声アナウンスに沿って担当部署をお選びください。

〒430-0946 静岡県浜松市中央区元城町115-10 元城町共同ビル FAX 053-488-5630